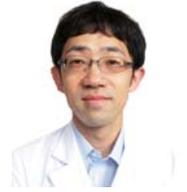




医療安全管理活動について



医療安全管理者 薬剤部 課長 阿部 記史

病院における「医療安全」活動。この言葉にあまりなじみのない方が多いかもしれません。医療に従事する全ての職員が患者さんの安全を最優先とし、その実現を目指す態度・考え方およびそれを可能にする組織活動のことです。その中で医療安全管理者は、安全管理に関する医療機関内の体制構築に参加し、各種活動の円滑な運営を支援します。安全管理体制を組織内に根づかせ機能させることで、自院における安全文化の育成を促進するために中心的な役割を果たすものとされています。

業務の一例をあげますと、ヒヤリハット・インシデントアクシデント報告などの

収集、蓄積、分析結果などの検討と現場へのフィードバック、誤薬防止や転倒予防対策などの各種ラウンド参加、医療安全に関する職員への教育・研修の企画実行、医療安全に関する各種マニュアルの作成と見直しなどがあります。

様々な職種が関わる医療は複雑で高度化しており、1人のスタッフが初めから終わりまで単独で患者さんと関わることは難しくなっています。個人の努力だけでは事故を防止することは困難であり、組織的な取り組みが不可欠です。そのため「人はミスをおかすもの」という視点にたって医療安全に取り組む意識が必要となります。

また、現在は医療安全活動への患者さんの参加も求められています。例えば、入院中にリストバンドを装着するようにお願いしたり、誤認防止のためにお名前を名乗っていただくことなども実はこの活動の一環となります。是非ご協力のごほどよろしくをお願いします。

医療の現場は事故発生要因が色々と交錯しています。事故対策をしっかりと行い、未然防止へと発展させるために試行錯誤の繰り返しです。今後も医療安全について自らのこととして考え、医療現場から積極的に取り組み、職場の医療安全意識を高められるように努めていきたいと考えています。

病院窓口としての外来業務



医療事務部 外来課
課長 藤田 尚保

外来課には外来診療、予防接種、患者さんの文書作成、救急当番、保険請求、治験業務、医療相談等、様々な業務があります。中でも外来診療は、患者さんから見える病院の業務として一番分かりやすく、印象に残りやすいものだと思います。外来課は、患者さんに「また来よう。通院しよう。」と思っただけのかどうかを左右する重要な役割を担っている部署の一つだと考えております。

昨年春、新棟での外来業務がスタートし、早や2年目を迎えました。ハード面、ソフト面ともに一新された環境で日々努力しております。とまどっていた電子カルテ操作にも慣れてきて、今まで紙カルテの抽出・準備に要していた時間を患者さんと接する時間に置き換えることができるようになってきています。

また、医療事務部では職員の接遇力アップのため、研修会や接遇強化週間アンケート等を定期的に開催しています。外来診療の待ち時間に関しては、患者さんの円滑な流れを作ることができるよう検討、改善を行っています。外来課の業務は医師、看護師、各コメディカルとのコミュニケーションなくしては成立しません。協力する、協力してもらう、チーム医療の精神で任務遂行するように努めております。

外来課スタッフは今後も引き続き、「思いやりの医療をもって地域社会に貢献する」という共通の自覚を持ち、日々の業務に取り組んで参ります。

病院医療を支える チームの一員として



株式会社 長崎商事
松山市民病院事業所 所長 栗林 武範

私ども株式会社長崎商事は、松山市を中心に建築物総合管理業務を主にした企業です。松山市民病院においても院内清掃や守衛業務、駐車場係員といった建築物総合維持管理業務を受託させていただいております。病院が一般ビルと違って特別な目的を持った施設であることを理解し、病院医療を支える安全で快適な環境を作り出すチームの一員として日々業務に携わっています。

特に環境整備においては、作業従事者のスキルアップのため、ビルクリーニング技能士や医療関連サービスマーク制度の病院清掃受託責任者等の資格取得に力を入れています。また、院内感染防止対策委員会による研修会の参加や患者さんや家族への対応について、実技指導を交えた教育にも取り組んでいます。

さらに、突発的事項への対応についても病院側の業務責任者と連携を図り、協議しながら業務を円滑に実施し、病院機能が保持できるよう努めていくことも役割の一つと考えて従事しています。

至らない点が多々あるとは思いますが、努力して参りますので、よろしくごお願い申し上げます。

病院環境整備に従事するスタッフの皆さん

